



2021年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 弘展
(コード番号 3591 東証第1部)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 廣岡 勝也
(TEL. 075-682-1010)

通期連結業績予想の修正、減損損失および投資有価証券評価益の計上に関するお知らせ

2020年10月30日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想に関しまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 連結業績予想の修正

(米国会計基準)

	売 上 高	営 業 利 益	税引前当期 純 利 益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 156,000	百万円 △1,000	百万円 300	百万円 △500	円 銭 △8.01
今回修正予想(B)	152,000	△1,100	10,800	7,000	112.17
増減額(B-A)	△4,000	△100	10,500	7,500	
増減率(%)	△2.6	—	—	—	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	186,760	6,632	4,359	3,472	54.26

(修正の理由)

売上高については、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の拡大により、当第4四半期連結会計期間において再び緊急事態宣言が発令され、外出自粛が広がったこと、また海外においても、ロックダウン措置の影響があったことにより、前回予想値を下回る見通しです。

営業利益については、グループ各社で経費削減に努めましたが、感染症の影響を踏まえ、当社子会社のワコールヨーロッパリミテッドおよびその子会社(以下、ワコールヨーロッパ)に関するのれんの減損損失を計上した結果、前回予想値を下回る見通しです。

税引前当期利益については、当社および当社子会社が保有する投資有価証券に関して評価益を計上することにより、前回予想値を大きく上回る見通しとなりました。

なお、2021年3月期通期連結業績については、5月14日に発表の予定です。

2. 減損損失の計上について

当社子会社のワコールヨーロッパについて、感染症の影響を踏まえた現時点での今後の業績見通しを勘案して減損の有無を検討し、公正価値を再測定した結果、無形固定資産として計上しているのれんについて、2,673百万円を減損損失として計上いたします。当社は、米国会計基準を採用しているため、減損損失は営業費用となり、営業利益に影響します。

3. 投資有価証券評価益の計上について

当社および当社子会社が保有する投資有価証券に関して、2021年3月期に投資評価損益（純額）を10,390百万円計上いたします。これに伴う当期純利益への影響額は7,209百万円の増加となります。

なお、2021年3月期第3四半期累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）において投資評価損益（純額）を5,725百万円計上していたため、第4四半期会計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）において計上しました有価証券・投資評価損益（純額）は4,665百万円となります。

4. 配当予想

2021年3月期の期末配当予想の変更はありません。当社の1株当たり年間配当金は、支払済みの中間配当金20円に2021年6月上旬に支払予定の期末配当金20円を加え、合計40円となる予定です。

以 上